

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第15期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社レントラックス
【英訳名】	Rentracks CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山崎 大輔
【本店の所在の場所】	東京都江戸川区西葛西五丁目2番3号
【電話番号】	03－3878－4159
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小高 忠裕
【最寄りの連絡場所】	東京都江戸川区西葛西五丁目2番3号
【電話番号】	03－3878－4159
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 小高 忠裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第2四半期 連結累計期間	第15期 第2四半期 連結累計期間	第14期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	5,463,561	4,815,523	10,409,312
経常利益 (千円)	277,199	124,512	515,403
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	180,061	42,472	279,701
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	180,601	28,411	279,072
純資産額 (千円)	2,025,666	2,070,755	2,124,808
総資産額 (千円)	3,814,191	3,811,114	3,925,209
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	22.83	5.37	35.45
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	22.75	5.37	35.34
自己資本比率 (%)	53.1	54.3	54.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	104,441	33,503	420,650
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△37,135	△143,422	△313,783
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	446,191	△82,633	646,508
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高 (千円)	2,113,097	2,157,416	2,352,612

回次	第14期 第2四半期 連結会計期間	第15期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	11.91	0.09

（注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2．売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日）におけるわが国の経済は、企業収益は好調に推移し、雇用所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調が見られたものの、米国の政権の動向や海外情勢の不安定なリスク等、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、株式会社電通の「2018年日本の広告費」によれば、2018年の日本の総広告費は6兆5,300億円（前年比102.2%）、その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が1兆4,480億円（前年比118.6%）と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融、自動車買取、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりになりました。

① 財政状態

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,811,114千円となり、前連結会計年度末と比較して114,904千円の減少となりました。これは、現金及び預金が195,461千円、売掛金が78,478千円減少したこと、投資有価証券が131,513千円増加したこと等が主な要因であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は1,740,359千円となり、前連結会計年度末と比較して60,041千円の減少となりました。これは、買掛金が38,102千円、未払法人税等が76,825千円減少したこと、未払金が42,828千円増加したこと等が主な要因であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,070,755千円となり、前連結会計年度末と比較して54,052千円の減少となりました。これは、利益剰余金が20,770千円減少したこと、自己株式（純資産のマイナス勘定）が19,980千円増加したこと等が主な要因であります。

② 経営成績

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,815,523千円（前年同四半期比88.1%）、営業利益125,715千円（同45.1%）、経常利益124,512千円（同44.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42,472千円（同23.6%）となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が4,520,364千円（同97.4%）、検索連動型広告代行業業が232,716千円（同29.5%）、その他の事業が62,442千円（同185.1%）となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が541,975千円（同91.9%）、検索連動型広告代行業業が24,751千円（同40.6%）、その他の事業が50,702千円（同161.4%）となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前連結会計年度末に比べ195,196千円減少し、2,157,416千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動により獲得した資金は33,503千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益(102,012千円)を計上し、売上債権の減少(78,513千円)等による増額があった一方、仕入債務の減少(38,095千円)による減額、法人税等の支払(124,097千円)等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動に使用した資金は143,422千円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出(138,786千円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動に使用した資金は82,633千円となりました。これは主に自己株式の取得による支出(19,980千円)、配当金の支払額(62,992千円)等によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	24,600,000
計	24,600,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数（株） (2019年9月30日)	提出日現在発行数（株） (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,975,800	7,975,800	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100株
計	7,975,800	7,975,800	—	—

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	—	7,975,800	—	440,096	—	346,096

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式（自己 株式を除く。）の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
金子 英司	東京都江戸川区	3,900,000	49.52
相尾 幸介	東京都江戸川区	151,100	1.92
楽天証券株式会社	東京都世田谷区玉川 1 丁目14番 1 号	137,500	1.75
横山 早苗	東京都江戸川区	135,000	1.71
内木 真哉	東京都渋谷区	91,500	1.16
山本 賢志	兵庫県姫路市	75,000	0.95
芝野 佑美	群馬県高崎市	63,500	0.81
福田 秀樹	埼玉県久喜市	61,100	0.78
山崎 大輔	東京都荒川区	61,100	0.78
細井 雅美	BANGKOK, THAILAND	60,000	0.76
計	—	4,735,800	60.13

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式100,343株があります。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100,300	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,873,500	78,735	—
単元未満株式	普通株式 2,000	—	—
発行済株式総数	7,975,800	—	—
総株主の議決権	—	78,735	—

(注) 「単元未満株式」には当社所有の自己株式43株が含まれております。

② 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合 (%)
株式会社レントラックス	東京都江戸川区西葛西 5丁目2番3号	100,300	—	100,300	1.26
計	—	100,300	—	100,300	1.26

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,363,070	2,167,609
売掛金	1,113,694	1,035,215
原材料及び貯蔵品	1,315	3,579
前払費用	68,232	40,376
その他	15,086	72,671
貸倒引当金	△2,281	△1,473
流動資産合計	3,559,117	3,317,979
固定資産		
有形固定資産	3,414	3,343
無形固定資産		
のれん	2,328	2,095
その他	4,159	6,409
無形固定資産合計	6,487	8,504
投資その他の資産		
投資有価証券	299,426	430,939
繰延税金資産	41,218	34,428
その他	34,404	34,477
貸倒引当金	△18,859	△18,559
投資その他の資産合計	356,189	481,286
固定資産合計	366,091	493,134
資産合計	3,925,209	3,811,114
負債の部		
流動負債		
買掛金	816,064	777,962
短期借入金	700,000	700,004
未払法人税等	132,980	56,155
賞与引当金	19,220	21,300
その他	132,135	184,936
流動負債合計	1,800,400	1,740,359
負債合計	1,800,400	1,740,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,925	440,096
資本剰余金	345,925	346,096
利益剰余金	1,381,014	1,360,244
自己株式	△34,768	△54,749
株主資本合計	2,132,097	2,091,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△5,344
為替換算調整勘定	△8,487	△17,204
その他の包括利益累計額合計	△8,487	△22,548
新株予約権	1,198	1,617
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,124,808	2,070,755
負債純資産合計	3,925,209	3,811,114

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,463,561	4,815,523
売上原価	4,781,480	4,198,093
売上総利益	682,081	617,430
販売費及び一般管理費	※ 403,151	※ 491,714
営業利益	278,929	125,715
営業外収益		
受取利息	38	59
その他	117	922
営業外収益合計	155	981
営業外費用		
支払利息	244	1,564
為替差損	1,640	332
その他	—	287
営業外費用合計	1,885	2,183
経常利益	277,199	124,512
特別損失		
投資有価証券評価損	—	22,500
特別損失合計	—	22,500
税金等調整前四半期純利益	277,199	102,012
法人税等	95,859	59,539
四半期純利益	181,340	42,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,279	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,061	42,472

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	181,340	42,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△5,344
為替換算調整勘定	△739	△8,716
その他の包括利益合計	△739	△14,061
四半期包括利益	180,601	28,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,322	28,411
非支配株主に係る四半期包括利益	1,279	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	277,199	102,012
減価償却費	4,694	1,927
のれん償却額	11,934	232
株式報酬費用	419	419
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	455	△1,108
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△888	2,080
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	22,500
受取利息	△38	△59
支払利息	244	1,564
売上債権の増減額 (△は増加)	△397,899	78,513
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108	△2,294
前払費用の増減額 (△は増加)	25,884	27,490
仕入債務の増減額 (△は減少)	248,280	△38,095
その他	△20,391	△36,077
小計	149,786	159,105
利息の受取額	38	59
利息の支払額	△244	△1,564
法人税等の支払額	△45,139	△124,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,441	33,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△764
無形固定資産の取得による支出	—	△3,100
投資有価証券の取得による支出	△30,000	△138,786
敷金及び保証金の差入による支出	△5,375	△2,533
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,761
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,760	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,135	△143,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	—
株式の発行による収入	895	340
自己株式の取得による支出	—	△19,980
配当金の支払額	△54,704	△62,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	446,191	△82,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	△236	△2,643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	513,260	△195,196
現金及び現金同等物の期首残高	1,599,837	2,352,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,113,097	※ 2,157,416

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給与手当	122,539千円	159,307千円
賞与引当金繰入額	14,257	20,094
貸倒引当金繰入額	455	△1,108

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	2,123,081千円	2,167,609千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△9,984	△10,192
現金及び現金同等物	2,113,097	2,157,416

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,821	7	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	63,157	8	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,639,966	789,859	5,429,825	33,735	5,463,561
計	4,639,966	789,859	5,429,825	33,735	5,463,561
セグメント利益	589,668	61,003	650,672	31,408	682,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,520,364	232,716	4,753,081	62,442	4,815,523
計	4,520,364	232,716	4,753,081	62,442	4,815,523
セグメント利益	541,975	24,751	566,727	50,702	617,430

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	22.83円	5.37円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	180,061	42,472
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	180,061	42,472
普通株式の期中平均株式数(株)	7,885,744	7,906,904
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	22.75円	5.37円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加額(株)	30,507	2,799
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社レントラックス

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村 憲一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 篠塚 伸一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社レントラックスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社レントラックス及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。